

蟹江町歴史民俗資料館

年報

第45冊

令和7年(2025)2月

蟹江町歴史民俗資料館

目 次

I	歴史民俗資料館概要	1
1	沿革	1
2	施設概要	1
II	歴史民俗資料館事業	2
1	展示	2
(1)	常設展示	2
(2)	特別展示	3
(3)	企画展示	3
2	教育普及	5
3	資料の収集・保管	14
(1)	収集資料の特色	14
(2)	収蔵資料の状況	14
4	調査・研究	17
5	情報提供	17
6	利用状況	17
III	文化財保護事業	19
1	文化財保護等事業費補助事業	19
2	文化財公開事業	19
3	文化財普及・啓発事業	20
4	文化財保存活用地域計画作成事業	21
IV	資料編	22

蟹江町歴史民俗資料館特別展

蟹江合戦と鈴木四郎左衛門家



奥：花鳥図屏風 年代未詳

中央および右：朱塗紺色威丸胴具足および櫃 慶長年間（1596～1614）中期

左：弾薬箱 年代未詳

いずれも蟹江氏所蔵（当館寄託）

令和5年11月7日（火）～12月17日（日）

午前9時～午後5時（月曜日休館） 入館無料

場所 蟹江町歴史民俗資料館

蟹江町城一丁目214番地 蟹江町産業文化会館内

TEL/FAX 0567-95-3812

主催 蟹江町教育委員会

開催にあたって

蟹江町歴史民俗資料館では、戦国時代から昭和にかけて蟹江町に居住した鈴木四郎左衛門家（現蟹江家）より、多数の資料の寄贈・寄託を受けています。蟹江家は天正12年（1584）の小牧・長久手合戦における蟹江城をめぐる一連の戦い「蟹江合戦」にて活躍した後、蟹江本町地区に居宅を構えました。江戸時代になると新田開発で財を成し、明治時代には蟹江町長や貴族院議員を輩出、昭和時代には再び蟹江町長を輩出するなど、蟹江町の歴史に深く関わってきました。今回の特別展では、蟹江合戦と鈴木家の関わりをはじめ、海部地域や国政との関わりについても紹介します。これを機に、地域の歴史について関心を寄せていただければ幸いです。

最後に、今回の特別展開催にあたり、蟹江様をはじめ関係各位には、多大なるご理解とご協力をいただきました。ここに感謝を申し上げます。

令和5年11月吉日

蟹江町歴史民俗資料館

蟹江合戦について

「蟹江合戦」は、天正12年（1584）に織田信雄・徳川家康軍と羽柴秀吉軍が尾張国を中心に戦った小牧・長久手の戦いのうち、蟹江一帯で起きた攻防戦のことである。当時の蟹江城は伊勢湾に面する重要拠点であり、信雄の居城・長島城と家康のいる清洲城の間に位置したため、蟹江城を奪取することで信雄と家康の連携を阻む狙いがあった。

6月16日、秀吉配下の滝川一益は九鬼嘉隆とともに海上から蟹江へ侵攻した。蟹江城主である佐久間正勝が不在の際をつき、親類関係にあたる前田長定らを内応させて蟹江城・前田城・下市場城の占拠に成功する。

信雄・家康はこの動きにすぐさま対応し、蟹江城を奪還すべく攻撃を開始した。18日に下市場城、23日に前田城、7月3日には蟹江城を奪還し、約二週間におよぶ蟹江合戦は終結した。また一益は降伏する条件として、長定を自害させたとされる。

なお、秀吉は7月15日に尾張出陣を予定していたものの、蟹江城陥落により延期となった。

蟹江合戦の情勢 1

織田信雄配下の佐久間正勝、前田長定、山口重政ら、蟹江一帯を守る。



蟹江合戦の情勢 2

正勝、信雄の命により伊勢国へ赴く。長定、蟹江城へ入城する。長定の子長種、前田城を守る。

